

女性のかで支えていきます



## 第39回 国東地区婦人部秋子乾椎茸品評会



▲あいさつする中野久美子会長

平成19年12月18日(火)、午前9時30分から、いこいの村国東で第39回国東地区婦人部秋子乾椎茸品評会の表彰式がありました。今回の品評会には、国東市(134点)、豊後高田市(25点)、杵築市(14点)、宇佐市(8点)から、合計181点の応募があり、香信(こうしん)、香菇(こうこ)、冬菇(どんこ)の各部門で、それぞれ入賞者の皆さんが表彰されました。

表彰式では、主催者を代表して同婦人部の中野久美子会長(武蔵町丸小野)が約300名の出席者を前に「今年は、おかげさまで乾しいたけの高値が続いています。このように盛大に品評会や表彰式が開催できることに、県や市、そして椎茸農協の職員の皆様、関係者の方々に厚くお礼を申し上げます。今後もこの高値を励みに、私たち婦人部がさらに団結して、品質の良

い国東の乾しいたけ増産のためにがんばっていきましょう。」とあいさつしました。大分県東部振興局生産流通部総括の草牧資法さんの審査報告、表彰式の後、土谷繁文連合会長のあいさつに続いて来賓のあいさつがあり、野田侃生市長が「婦人部の皆様が常日頃からそれぞれのご家庭を支え、そして国東市のブランド品である乾しいたけの生産に多大のご貢献をされていることに対し、心から感謝申し上げます。市としても、基幹産業である1次産業の従事者の皆さんの所得が向上することが市勢の発展につながると確信いたしております。若い後継者が育つように私も皆様と力を合わせて、頑張っていく覚悟です。」とあいさつしました。

この日は、乾しいたけ料理の試食やアトラクション、講演会などもあり、会場は終日熱気にあふれていました。



▲乾しいたけを使った料理を試食する参加者の皆さん

### 国東市の農業振興について意見交換

## みんなで語ろうこれからの国東市農業

これからの国東市の農業振興について考える「みんなで語ろうこれからの国東市農業」が、1月18日(金)、午後1時30分から、武蔵保健福祉センターで開催されました。

この会は、国東市、くにさき農業協同組合、大分県東部振興局の共催で、市内から農業関係者約120名が参加しました。主催者を代表して野田侃生市長があいさつした後、平野昭大分県副知事が「限界集落をめぐる議論と国東市の農業振興について」のテーマで基調講演。県東部振興局、市、JAくにさきの担当者がそれぞれ市内の農業の現状、課題及び農業振興の方向などを説明しました。その後、質疑応答と意見交換を行い、これからの農業振興について語り合いました。



▲平野副知事が基調講演

